

iシェアーズ 月次ETF*資金流入レポート



渡邊 雅史
ブラックロック・ジャパン株式会社
iシェアーズ事業部
ストラテジスト

ETFは世界中で約5000本が上場され、機関投資家・個人投資家の双方に活用されており、その規模は2.5兆ドル（約250兆円）を超えています。

ETFは株式市場で株式のように取引される一方で、上場「投資信託」であり、投資信託としての資金の出入りが日々発生**しています。世界中で様々な投資家が利用しているETFの資金流入は、世界の投資家の動向を探る上でも有用な情報になると考えられます。

当レポートでは、世界のETFの資金流入の状況をまとめ、それらから見えてくる世界の投資家動向についてご紹介していきます。

*ETF(Exchange Traded Fund)のほか、ETN(Exchange Traded Note)、ETC(Exchange Traded Commodity)、ETI(Exchange Traded Instrument)等の上場金融商品を含みます。

**ETF独自の「設定／交換」と呼ばれる現物バスケットと受益権の受け渡しによりETFへの資金流入が発生します。（すべてのETFが現物での設定／交換を行うわけではありません）

2014年9月のETF資金流入 ～新興国株式への流入は継続～

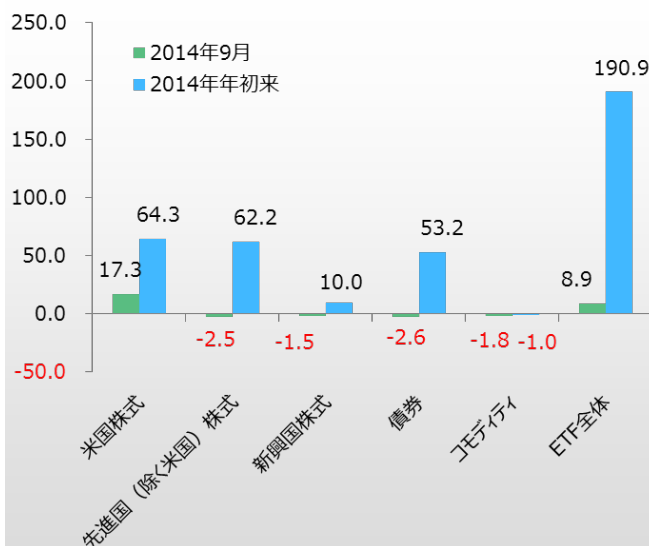
2014年9月の世界のETFへの資金流入は、89億ドル（約1.0兆円）の流入となりました。

9月のETFへの資金は米国株へは流入となりましたが、それ以外の資産クラスは押しなべて若干の流出となりました。米国株式においても大型株のETFへの流入が目立つ一方で、小型株からは流出となり、全体的に積極的にリスクを取りに行く市場環境ではなかったようです。

米国の利上げが意識されることで、ハイイールドの債券や新興国株式のETFからの流出が見られました。また、欧州においてもECBが緩和政策を打ったものの、デフレのリスクや景気に対する懸念は払拭されていないようで、今まで継続していた欧州株への資金流入の流れは反転した模様です。

債券のETFについては、早期利上げのリスクが意識され、米国債のETFからの資金流出が目立ちました。また、金利上昇（特に実質金利の上昇）懸念は、利回りを生まない資産である金（ゴールド）にとっては不利な状況であることも背景に、金のETFからの流出も目立ちました。

【世界のETFの資金流入（十億ドル）】

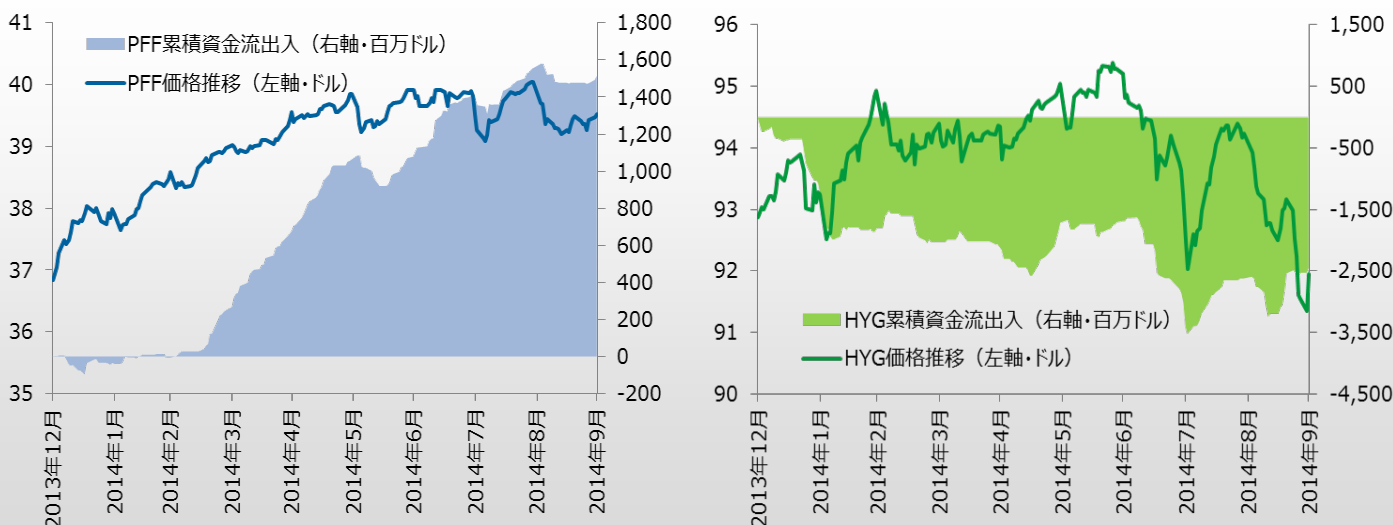


出所：ETP Landscape Sep 2014, BlackRock

当資料は情報提供を目的として作成されたものであり、特定の金融商品取引の勧誘を目的とするものではありません。当資料は当社が信頼できると判断した資料・データ等により作成しましたが、その正確性および完全性について保証するものではありません。また、当資料中の各種情報は過去のものであり、今後の運用成果を保証するものではなく、当資料を利用したことによって生じた損失等について、弊社はその責任を負うものではありません。さらに、本資料に記載された市況や見通しは作成日現在の当社の見解であり、今後の経済動向や市場環境の変化、あるいは金融取引手法の多様化に伴う変化に対応し、予告なく変更される可能性があります。

ETFから見る世界の投資家動向 ～異なるインカムETFの動向～

【PFF(iシェアーズ 米国優先株式 ETF)とHYG(iシェアーズ iBoxx 米ドル建てハイイールド社債 ETF)の市場価格と資金流入】



出所：ブラックロック、ブルームバーグ

米国の利上げについては、もはや「する・しない」ではなく「いつ」の問題として市場では認識されているようです。そういった中で、インカム利回りを求める投資家は、投資対象をより選別するようになってきたのではないかと考えます。代表的なところでは、ハイイールドの債券のETFはボラティリティも高くなり、資金の出入りもかなり激しくなっている一方で、優先株のETFについては資金流入が続いています。これらから推測される投資態度としては、ハイイールドの債券を発行している格付けの低い企業の倒産リスクに対しては投資家はかなり敏感になっているようですが、主に金融機関の資本構成のリスク（優先株は通常の債券よりも返済順位が低い）に対しては今のところそれほど懸念を持っていないと思われます。ただし、最近の傾向として、ハイイールドの債券も資金が抜けて価格が大きく下げた後は比較的早めに資金が入ってくるような動きが繰り返されており、ある程度下落の後にはリスクをとった投資家からの資金流入が入っている様子が伺えます。

ETFの主な投資リスクについて

ETFは投資元本および投資元本からの収益の確保が保証されているものではありません。連動を目標とする指数、組入れ有価証券の価格変動、金利及び外国為替の変動等の要因によりETFの価格は変動することから、投資者は損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

ETFの価格が変動する要因や変動の大きさは、各商品及び各商品が連動を目標とする指数等により異なります。優先株は金利上昇等により価値が減少する場合があります。また配当の支払いは保証されていません。満期到来、償還、繰上げ償還、転換などによってファンドの利回りの低下を招く場合があります。特定の地域や分野に特化した投資では、一般に変動が大きくなります。不動産投資信託（REIT）への投資は経済状況の変化や信用リスク、金利変動の影響を受けます。

手数料、費用等について

【売買時の手数料】 当ETFを売買する際の手数料は取扱い金融商品取引業者（証券会社）等によって定められます。詳しくは取扱会社までお問い合わせください。【保有時の費用】 当ETFの保有期間中は運用管理費用等を間接的にご負担いただけます。保有時の費用の率（総経費率）は個別のETF/JDR毎によって異なり、また運用状況や保有期間等に応じて異なることからその上限額を示すことはできません。詳細は取扱い金融商品取引業者（証券会社）にてご確認ください。またiシェアーズのウェブサイト（<http://jp.ishares.com/>）にて当ETFに関する情報を開示しております。

ブラックロック・ジャパン株式会社

iシェアーズ事業部 TEL 03-6703-4110(部代表) <http://jp.ishares.com/>

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第375号

加入協会/一般社団法人 日本投資顧問業協会、一般社団法人 投資信託協会、日本証券業協会